

科目番号	C6304	要件	教職必修	授業形態	演習	対象学生	II A III C D
授業科目	乳幼児心理学	単位数	1単位	授業者 担当者	高岡 昌子		
実施期	後期						
〔科目の概要〕 「保育の心理学」「保育の心理学Ⅱ」「保育原理」等で学んだことをベースに、保育者や養育者になったときに役立つ心理学的内容を確認していき、内容の理解を深めていく。そして幼児理解の理論及び方法について学び、発達課題や心理的問題について事例を通して一層理解を深め、多角的に自ら考え、発表し、意見を述べ合い、さらにフィードバックを通して学びを深める。							
〔この科目を通して獲得を目指す力〕							〔関連DP〕
ア	乳幼児期の発達課題や心理的問題についての理解を深め、幼児理解の理論及び方法についての学びを深め、保育者になるために必要な知識を培う。						1-c 1-d 1-e
イ	乳幼児期の心理・発達の問題について、事例を通して学び、幼児理解の理論及び方法についての学びを深め、適切な技能を身に付ける。						2-b 2-c
ウ	子どもの発達や心理的問題への対応について考えていくことができるようになる。そして幼児教育を取り巻く今日的課題をふまえ、今後の幼児理解のあり方について考える力を養う。						3-c 3-d
エ	乳幼児の心理や発達に関心を持ち、幼児理解の理論及び方法についての学びを通して、保育者として望ましい関わりを積極的に日々模索していく姿勢を身に付ける。						4-b 4-d
〔授業の内容〕					〔実施日〕	〔授業時間外学習の内容〕	
1	「乳幼児心理学」で学ぶ内容と方法、そして学ぶ意義について（幼児理解のあり方を、心理学的理論や幼児教育学的理論と関連づけて学び、幼児理解の理論及び方法を学ぶ必要性について再確認して一層学ぶ意欲を高める。）				月 日	シラバスを熟読しておく。今までに習った心理学的理論や幼児教育学的理論を再確認しておく。（0.5時間）	
2	保育者や養育者になるために必要な乳幼児心理学的内容の基礎の確認（乳幼児理解の理論及び乳幼児理解のための基礎知識の確認を行う）				月 日	習った幼児理解の理論及び方法を復習し、確認して覚えておく。（0.5時間）	
3	保育者や養育者になるために必要な乳幼児心理学的内容の基礎（幼児理解のための技法としての観察、面接、ならびに、記録やその読みとりについて学ぶ。）				月 日	習った心理学的内容を通して幼児理解の理論及び方法を予習復習しておく。（0.5時間）	
4	保育カンファレンスの意義と方法、そして可能性と課題				月 日	復習し、確認して覚えておく。（0.5時間）	
5	新生児・乳児の発達における心理的問題（観察、面接、選好注視法や馴化・脱馴化法などを通して理解できること）				月 日	新生児・乳児の発達における問題について復習して考え、幼児理解の方法について考える。（0.5時間）	
6	新生児・乳児期の心理的問題～事例から学ぶ。（虐待のある場合や障がいのある場合などの幼児理解に関する内容も含む）				月 日	新生児・乳児期の心理的問題を通して幼児理解の方法について学ぶ。（0.5時間）	
7	幼児前期の発達における心理的問題（虐待のある場合や障がいのある場合などの幼児理解に関する内容も含む）				月 日	幼児前期の発達に関する問題について考え、幼児理解の方法について考える。（0.5時間）	
8	幼児前期の心理的問題について学び、幼児理解の重要性と幼児理解に基づく「遊び」を中心とした保育計画の立案、改善等について学ぶ。（獲得を目指す力の確認）				月 日	幼児前期の心理的問題を通して幼児理解の方法について学ぶ。（0.5時間）	
9	幼児後期の発達における心理的問題（虐待のある場合や障がいのある場合などの幼児理解に関する内容も含む）				月 日	幼児後期の発達における問題を通して幼児理解の方法について考える。（0.5時間）	
10	特別な支援を要する子どもについての幼児理解と個別支援のあり方、保育方法と家庭支援、子ども同士の育ち合いへの支援について学ぶ。				月 日	特別な支援を必要とする子どもへの保育についての学びを深める。（0.5時間）	
11	子どもの発達における心理的問題に関する研究（幼児教育を取り巻く今日的課題をふまえ、今後の幼児理解のあり方について論じる。）				月 日	子どもの心理的問題に関わる発表準備をする。（1時間）	
12	子どもを取り巻く様々な問題について①：発表，全体討議（幼児教育を取り巻く今日的課題をふまえ、今後の幼児理解のあり方について考える。）				月 日	子どもを取り巻く様々な問題について調べて発表準備をする。（1時間）	
13	子どもを取り巻く様々な問題について②：発表，全体討議，フィードバック（今後の幼児理解のあり方について考える。）				月 日	自らの発表を振り返る。（1時間）	
14	円滑な就学につなげていくための保幼小の連携と保育者の役割（「指導要録」等含む）				月 日	保幼小連携そして指導要録について学び、保育者の役割を確認する。（1時間）	
15	乳幼児心理学における重要事項のまとめと確認、幼児教育を取り巻く今日的課題をふまえて今後の幼児理解のあり方について論じる。				月 日	乳幼児心理学における重要事項、幼児理解の方法について確認する。（1時間）	
16	幼児教育を取り巻く今日的課題をふまえ、今後の幼児理解のあり方について論じる。				月 日	幼児理解のあり方について論じる。（1時間）	
〔教科書・テキスト〕 適宜プリント教材を配付する。					〔成績評価の方法〕 出席… 30%、授業態度… 20%、発表・レポート… 50%		
〔参考書・教材〕 「乳幼児のための心理学」小林芳郎（編著）保育出版社 「保育の心理Ⅰ」林邦雄・谷田貝公昭（監修）、谷口明子・西方毅（編）一藝社 「教育心理学—保育・学校現場をよりよくするために—」石上浩美・矢野正（編著）嵯峨野書院 ※ その他の参考書については授業で随時紹介する。必要に応じて資料プリントを配付する。							
〔履修要件及び履修上の注意事項〕 授業には教科書や配付された資料プリントなどを全て毎回持ってくること。 欠席をした場合は、自分から積極的に欠席分を補うように行動すること。							
〔履修上の遵守事項〕 15分以上の遅刻は欠席とみなします。また、遅刻3回で欠席1回とみなす。							
〔連絡先・オフィスアワー〕 連絡先： taka@narabunka.ac.jp オフィスアワー：							

<チェックシート>

指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
ア①	乳幼児期の発達課題や心理的問題、幼児理解の理論及び方法の基礎		乳幼児期の発達課題や心理的問題があることを知る。	乳幼児期の発達課題や心理的問題について学び、幼児理解の理論及び方法についての学びを深める。	乳幼児期の発達課題や心理的問題に関する知識を培い、幼児理解の理論及び方法についての学びを深め、説明できる。
ア②	子どもを理解する手がかりとして用いられる心理アセスメントに関する基礎		子どもを理解する手がかりとして心理アセスメントが行われることがあることを知る。	子どもを理解する手がかりとしてよく用いられる心理アセスメントの意義や種類、活用方法に関する知識を培う。	ここで学んだ心理アセスメントの意義や種類、活用方法について説明できる。
イ	事例理解、幼児理解の理論及び方法、乳幼児期の心理・発達の問題に対処するための適切な保育技能		乳幼児期の心理・発達の問題について、事例を通して学び、適切な技能を学ぶ必要性を知っている。	幼児理解の理論及び方法についての学びを深め、事例学習をとおして乳幼児期の心理・発達の問題に対処するための技能を培う。	事例を通して幼児理解の理論及び方法についての学びを深め、乳幼児期の心理・発達の問題に対処するために適切な技能を身に付けている。
ウ	子どもの発達や心理的問題への対応		子どもの発達や心理的問題について考えている。	子どもの発達や心理的問題に対応するための思考力を培う。	子どもの発達や心理的問題に対応するための実践力を身に付ける。
エ①	乳幼児の心理や発達への関心、幼児理解の理論及び方法について学ぶ姿勢、議論に参加する力		乳幼児の心理や発達に関心をもっている。	乳幼児の心理や発達について学び、幼児理解の理論及び方法について自ら学ぼうとしている。	乳幼児の心理や発達について積極的に学んでいく姿勢を示して、それらに関わる議論に意欲的に参加しようとしている。
エ②	幼児理解の理論及び方法について学び、保育者としての望ましい関わりの探求、実践力の獲得		保育者として望ましい関わりについて関心をもっている。	幼児理解の理論及び方法について学び、保育者として望ましい関わりを日々模索していく必要性を理解している。	幼児理解の理論及び方法について学び、保育者として望ましい関わりについて意欲的に探求していこうとしている。

この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等